

# 不思議の庭の生き物たち～出会い～

1年図画工作 7月上旬～7月中旬 18Q〈6時間〉

附属新潟小学校 教諭 堀田 雄大

## 1 目指す姿

関係付けるすべを用いて、自分の考えた物語の内容に出てくる「なにを」にあたる具体と「どのように」にあたる形、色、イメージとを関連付け、自分で考えた物語の人物、事物、風景などを絵に表す子ども

## 2 単元の計画

	【学習活動】	【働き掛け】	Q
一次	○ 起の物語を知る。 前庭のお話だ。面白そう。緑の坂から落ちて、どうなったんだろう。	◆ 起の物語を提示する。 ◆ 提示後、登場人物やどんなことが起きたのか振り返らせてまとめる。	2 Q
	○ 承の話を聞き、不可解な名前の生き物に疑問をもつ。 ・え？『よっこりん』って、なに？ ・『よっこりん』は虫っぽい？ ○ 『よっこりん』の特徴を考える。 ・『よっこりん』は、虫っぽくてさ、コロコロ転がる感じじゃない？ 『よっこりん』て、なに？ きっと僕は丸いコロコロした虫みたいな生き物じゃないかと思うよ。	◆ 「多様な解釈のできる言葉」を複数入れた教師の創作話(承の部分)を聞かせ、『よっこりん』の特徴をイメージさせ、絵に表させる。 【働き掛け1】	4 Q
	○ 『よっこりん』を絵に表す。 ・丸くてコロコロする『よっこりん』を描こう。		
二次	○ 結の部分を知り、転で何が起きたのか疑問に思う。 ・『ブンバボじいさん』て何？ ・これじゃあ、何があって「モドールモドール」をもらったのか分からないよ。 ○ 何がどうなって結になったのか考える。 きっとさ、2人と『よっこりん』は草むらを探検して、トンネルのところまで行って、そこに『ブンバボじいさん』がいて、薬をもらって帰ったんだよ。	◆ 創作話(結の部分)を聞かせ、「何がどうなって、こんな終わり方になったのかな」と問う。 【働き掛け2】  ◆ 転の物語を原稿用紙に書かせる。	3 Q
	○ 自分の考えた物語を交流し、共通点や相違点に気付く。 ・ぼくの考えた物語は、〇〇さんのと似ているね。だって、トンネルに行くんだよ。 ・私の物語は、〇〇さんと全然違った	◆ どんな物語をつくったのか、『よっこりん』を基に、前庭に出て物語を語らせる。 【働き掛け3】	3 Q

三次

- 自分の物語を語る場所を，その内容に合わせて選ぶ。
  - ・よし。トンネルに行ってお話をしよう。
  - ・草がたくさんあるな。小さくなったら，どんなふうに見えるんだろう。
  - ・しゃがんで見てみよう。
  - ・お，なんだかいつもと違った中庭に見えるな。

既有事項

これまでに知っている生き物や事物の特徴

虫みたいに小さくなると，草ってこんなに大きく見えるのか。  
あ，石が落ちてる。これ，『ブンバボじいさん』のもとになるかもしれないぞ。

- 絵に描く具体の形や色，イメージを考える。

『ブンバボじいさん』を石みたいに描こうと思いました。理由は，トンネルに行ってみたら，石があって，『ブンバボじいさん』みたいに見えたからです。

◆ 「お話にでてくるものを，どのように表したいですか」と問う。【働き掛け4】

- ワークシートに書いた「何を」「どのように(色，形，イメージ)」を絵に表す。

『ブンバボじいさん』を石みたいに描こうと思いました。理由は，トンネルに行ってみたら，石があって，『ブンバボじいさん』みたいに見えたからです。

◆ 「何を，どのように表すか」と考えたものを基に，絵に表させる。

6 Q

3 内容の関連

〔第1学年及び第2学年〕  
表現 A(2)イ  
**中心となる見方や考え方**  
想像をふくらませる力



〔第3学年及び第4学年〕  
表現 A(2)イ  
**中心となる見方や考え方**  
想像をふくらませる力